

元戦車中隊長の模型部屋 第2回

みなさまこんにちは！元号が変わり令和元年！気分も一新されて方も多いのでは？そしてこの大型連休！いかが過ごされましたでしょうか？私は家の掃除と娘達と旅行、そしてプラモに明け暮れてました。何を作っていたかは、またいずれこのコーナーで紹介します。さて、今回は・・・

16式機動戦闘車です。



キットは田宮模型さんです。いままで海洋堂さんの1/35ガレージキットや、青島模型さんの1/72スケールのが出ていましたが、昨年平成30年末に待望の1/35スケールでの発売となりました。

そのままで十分なキットなのですが、どうせなら精密に作りたいもの。デフモデル社製の自重変形タイヤや真鍮線などで細部に手を加えています。



「履帯を履いていないから戦車じゃない!」「いや、装輪戦車だ!」いろいろ言われていますが、ミリタリーマニアの私からすれば、どっちでもいいじゃん。カッコ良い装備品が自衛隊に配備されたことを素直に喜びたいです。うーん、どうですか?この威容!



今回使用したデフモデルの自重変形タイヤです。車体の重さでタイヤの接地面が変形したところを再現したタイヤです。この微妙に膨らんでいるのがわかりますかね?これはリアルです。しかし、値段が・・・(T▽T)



車長と砲手ですが、毎回眼の塗り方が下手くそです。アイラインの描き方が違うんだよと娘から指摘を受けました。やはり、メイクの達人たる女性からのアドバイスは違います。毎回指導を受けるのですが・・・



迷彩服は目の前に本物がありますから（当然か）、それを壁にハンガー掛けし、それを参考に塗装しました。ハッチ裏はバンドや開閉レバーが省略されてますのでマスキングテープとプラ板、他のキットのエッチングパーツで自作しました。重機関銃の照門も他のキットのエッチングパーツを流用しました。



アンテナやハッチの取っ手はO. 3mm真鍮線で作り直しました。地道な作業ですが、精密感が増します。



ライト部品は透明なので、裏にアルミシートを貼り付けて反射板を表現し、テールライトやウインカーをクリアーレッドやクリアーオレンジで塗装しました。奥行き感が表現できるので、ぜひトライして欲しいところです。



各ハッチや砲手用潜望鏡は透明部品なので、それを活かしてガラス面をマスキングし、その他を黒⇒車体色の順で塗装します。ガラスのような奥行きがある感じがわかりますか？自己満足な世界ですが・・・



最大の難関である105mm砲のマズルブレーキの穴あけですが、先述のデフモデルさんのタイヤセットに砲口部のパーツが付いており、穴はもちろん砲口のライフリングまで表現されています。これはすごい！

説明書通りにシールで穴を表現しても良いし、ガイドシールを使用して自分で穴を開けても良いし（これが大変！）、是非ともトライしてみてください。



塗装はタミヤ社のラッカーペイントをエアブラシで吹き付けました。濃緑色を全面に塗装、茶色で境界線を筆塗り、境界線内をエアブラシで茶色を吹付けの順で基本塗装しました。



同じスケールの10式戦車と並べて協同訓練のイメージ。今後、こんなシーンも多く見られるようになるのかもしれませんが。

しかし、自衛隊の装備品ってカッコイイですよね。私大好きです！(笑)



同スケールの戦車や装甲車と並べてその違いや大きさを見ることが出来るのも模型ならではの楽しみ方です。



**「砲手、三角高地左から右へ走行する敵戦車！
徹甲撃て！！」「発射！」ドカーン！！**

机の上で演習をする50歳男子の姿を見て娘達が「今日も父さん楽しそうだね・・・」

おっといかんいかん、ご飯の時間だね。今作るから・・・シングルファーザーは大忙しのさ。全国のシングルの皆さん！子育て楽しみましょう！！では、また次回をお楽しみに！